

埼玉県生協連写真ニュース

発行:埼玉県生協同組合連合会 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5 TEL 048-844-8971 URL http://saitama.kenren-coop.jp

2008 秋号 No.28



8/31

第29回八都県市合同防災訓練<埼玉会場> 生協の災害支援活動や防災の取り組みを紹介

「東洋大学朝霞キャンパス」を主会場に、全体で約5,200人、埼玉県生協連の6生協・2連合会から41人が参加しました。県との「基本協定」にもとづく11回目の参加。防災フェアの会場では、生協の災害支援活動のパネルや災害と食のタペストリー等の展示、非常持ち出し品チェックリストや減災の手引きを配布。地震体験クイズにも大勢の方が参加しました。



応急生活物資の広域搬送訓練に生協車両4台が参加



医療生協さいたまでは血圧測定・体脂肪チェックを実施



上田県知事がさいたまコープの応急生活物資の配布訓練に飛び入り参加

8/22~25 内閣府、さいたま市、防災推進協議会 主催 「防災フェア2008 in さいたま」 災害時に備えシミュレーション

大宮ソニックシティで行われた「防災フェア」で、生協の災害支援活動のパネル展示や地震体験クイズ等を実施。25日には、災害を想定した地図上での演習、「コープぼうさい塾 わがまち減災・MAPシミュレーション」を開催し、内閣府や埼玉県等の行政関係者、4生協の組合員等63人が参加しました。



9/27

JA全農さいたま主催
平成20年度埼玉県産米交流会「体験稲刈り」
年間通じてお米づくりを体験



お米になるまでがわかると人気

秋晴れのなか、27家族112人が黄金色に輝く稲の刈り取りを行いました。会場のJA全農さいたま「彩の米センター」では、春の田植え～夏の間観察会が行われ、稲刈りはその総仕上げ。参加者は鎌を手に、田んぼを区切って作られた島に2家族ずつ分かれ稲刈りを行いました。

9/22

埼玉県と「マイバッグ持参運動とレジ袋削減運動の取組に関する協定」を締結
埼玉県と協働しレジ袋削減へ



埼玉消団連の片貝代表幹事（前列右から2人目）
さいたまコープ佐藤理事長（後列左から2人目）

マイバッグ持参とレジ袋削減運動に関する協定が、埼玉県と18事業者・3市民団体で締結されました。全国で5番目、また全国一の361店舗が参加し、レジ袋削減運動の取り組みや無料配布の中止、消費者への啓発など協働して取り組んでいきます。

10/7

第44回埼玉県消費者大会
全体で1,000人が参加!
分科会も大盛況



記念講演される
小泉武夫・東京農業大学教授

参加者でいっぱいになった埼玉会館大ホール、オープニングでは「ワッツ☆ゴスペル」が、リズム感あふれるコーラスを披露しました。来賓として上田県知事のあいさつ、記念講演では「ハツラツ元気をやる「食」の知恵」～地産地消で食料自給率の向上を!～と題し、食や農業の大切さが話されました。午後の5つの分科会には約500人が参加し、テーマごとに学習・交流しました。

9/26

マスコミさいたま支局長会との懇談会
県内生協の取り組みをアピール



幹事社を代表して日経新聞社の阿部さいたま支局長のあいさつ

県内生協の取り組みや活動についてもっと知りたいと、メディアに取り上げていただきたいの思いから、毎年懇談会を開催しています。さいたま支局長会9社と、埼玉県生協連・会員生協から6生協(連)あわせて25人が参加し、食の安全の問題等について懇談しました。

子育て応援講座が好評です

さいたまコープ

秋のこども・子育て応援キャンペーンの子育て応援企画として、店舗のコープメイト(組合員集会室)を会場に、約100カ所で開催。赤ちゃんマッサージ、幼児安全講習会、ベビーピクス、親子でわらべ歌などの講座を開催中。ホームページや会員向けのCO・OPネットワーク誌等で広く呼びかけ、参加者からは好評です。



コープ東岩槻店でのふれあいあそびひろば

「六ヶ所村ラブソディー」上映会を開催

ドゥコープ

ドゥコープ環境委員会のテーマグループ主催で、鎌仲ひとみ監督の映画「六ヶ所村ラブソディー」の上映会を9月9日開催し、59人の方が参加しました。電力の3分の1を原発に頼る現在、エネルギー問題を通して社会が抱える様々な課題を見つめなおすキッカケとなりました。



六ヶ所再処理工場反対の署名活動に向け 国会請願スタート集会を開催

生活クラブ生協

9月8日国会請願スタート集会を開催しました。NPO法人原子力資料情報室の澤井正子氏が「食卓にのぼる六ヶ所村再処理工場からの放射能」をテーマに、再処理工場の建築費や稼働費等が電気料金に上乗せされていることや、放射性廃棄物による海や空への環境汚染、食の安全への危機などを話されました。



澤井正子氏による講演

産直連続講座を開催

埼玉県勤労者生協

パルシステム生産者・消費者協議会の生産者の出前による「産直連続講座※」が、9月より始まりました。農業を取り巻く厳しい状況や「本来の食」を取り戻すために消費者と生産者がどう取り組み、何ができるのか等の話を伺います。あわせて取り扱い農産物の料理講習会を行う等、考え交流する場として評判も上々です。



(株)パルミート「豚肉の学習会」
40kg 近い巨大な肉の塊をみごとにナイフ捌きで切り分けて



この紙は再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 印刷は環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

地域に医療生協をアピール! “つながり・連携”を生かして各地で健康まつり

医療生協さいたま

生協強化月間恒例の健康まつりが各地で開催されています。病院・診療所のある地区で開く地区の健康まつりと共に、支部単位の健康まつりが盛んです。今年の法人テーマ“つながり・連携をかたちに!”を意識して、これまで以上に地域密着型のまつりとなっています。行田協立診療所地区行田東支部では初めての支部まつりに65人が参加。上福岡協同診療所地区まつりには1,500人の参加がありました。



大盛況の骨密度測定
(行田協立診療所地区行田東支部)



「盛りが上がりました」
「福岡協同診療所地区」
がみしんバンドの演奏で

「全労済ぐりんぼう」が 新越谷にオープン

全労済埼玉県本部

県内7カ所目の店舗として8月3日オープン。今まで全労済の店舗のなかった地域のため、まずは知っていただくこと、新聞折り込み等の広告宣伝を行いました。また10月5日には昔懐かしい「チンドン屋さん」が新越谷駅界隈を練り歩き、スーパーの店頭には「全労済ぐりんぼう」のマスコットキャラクターが登場し、子ども達の注目の的になっていました。



マスコットキャラクターの「ぐりんぼう」

コープネットグループ職員が 初の「農家滞在型研修」

コープネット事業連合

9月23～25日の3日間、産直産地の千葉県香取郡多古町「多古町旬の味産直センター」とその生産農家に協力いただき、6人の職員が研修をしました。「農産物の生産過程を体験し、産地の取り組みについて理解を深める」「生産者との交流や収穫体験などを通して、日本の農業について考える」契機にすることを目的に企画しました。



施設見学や適正農業規範(GAP)等の学習の他、農作物の収穫や収穫した野菜のバック詰め等を体験

「Peace Now! 広島・長崎・沖縄2008」に 学生6人が参加

十文字学園生協

十文字学園生協では1996年の設立以来、平和運動に取り組み、毎年秋の桐華祭(大学祭)では原爆展を開催しています。今年度は全国大学生協連主催の「Peace Now! 広島・長崎・沖縄2008」に各2人が参加。広島に参加した2年生は「二度と戦争は起きてほしくない。平和への思いが熱くなった」と報告しています。



ピースインタビューで会ったイラク人の方々と

広島行動に参加した2人